

一般社団法人日本人間工学会第 19 回理事会 議事録

1. 開催日時：平成 25 年 2 月 19 日（火）15:30～17:56

2. 開催場所：日本大学理工学部駿河台キャンパス 5 号館 2 階 524 会議室

3. 出席者：

・理事会構成員(27 名・定足数 14 名以上)

(理事) 青木和夫(理事長・学術・企画・ウェブアクセシビリティ支援委員長), 酒井一博(副理事長・学会組織検討委員長・企業の人間工学教育のあり方検討委員長), 榎原毅(広報), 大内啓子(総務), 大須賀美恵子(編集), 河合隆史(企画・IEA), 小谷賢太郎(国際), 酒井正幸, 三林洋介(財務), 土屋和夫, 芳賀繁(安全人間工学委員長), 堀江良典(総務・第 54 回大会長), 松岡敏生, 三宅晋司(財務), 矢口博之, 吉武良治(人間工学専門家認定機構長)

[16 名]

(理事兼支部長)横山真太郎(北海道), 北村正晴(東北), 阿久津正大(関東・表彰), 斎藤真(東海)

[4 名] [計: 20 名]

(欠席者) 大久保堯夫, 津久井一平, 徳田哲男, 福田康明, 森本一成(関西), 村田厚生(中国・四国), 和田親宗(九州・沖縄)

・監事：赤松幹之

・オブザーバー：横井孝志(ISO/TC159 国内対策委員長)

・事務局：栗田紀子, 青木彩

4. 議事概要

定足数 14 名を超える 20 名の理事の出席を得て理事会が成立したことを確認した後、定款に従い理事長を議長として議事を進行した。なお議事録署名人として議長、赤松幹之監事のほか、堀江良典理事が指名され、承認された。

【審議事項】

(1) 第 1 号議案 2014 年の第 55 回大会について

青木理事長より、関西支部内での開催について、森本支部長より了承を得たが、大会内で行われる 50 周年事業については、学会の担当で行うことを希望する旨報告があり、審議を経て承認された。大会開催地については今後検討を行う。なお、50 周年準備委員会の立ち上げについては次回理事会までに案を検討する。

(2) 第 2 号議案 研究部会継続申請について

航空人間工学部会、アーゴデザイン部会、感性情報処理・官能評価部会、看護人間工学部会より出された継続の申請(5 年間)について、堀江総務担当理事より、継続理由書の提出が必要であるとの提案があり、審議を経て承認された。今後は、継続理由の記載を申請書に加え、さらに 5 年経過時には学会誌等で活動報告を出す等の検討を行う。

(3) 第 3 号議案 海事人間工学研究部会の設立について

堀江総務担当理事より、海事人間工学研究部会の設立について、研究部会規程に基づいて提出された設立申請書の説明があり、本件について議長より諮ったところ、全員異議なく了承され、設立が承認された。

(4) 第 4 号議案 投稿規程の改定について

大須賀編集委員長より短報の投稿規程と、査読を伴わない投稿原稿（研究動向等の解説や書評等）の規程の改定について提案があり、審議を経て承認された。

(5) 第 5 号議案 定款変更案の審議について

1) 理事再任制限についての答申

・酒井学会組織検討委員長より、理事の再任制限を設けることとし、その任期は連続 2 期(4 年)まで、任期終了後は 1 期(2 年)経過すれば被選挙権を得る、という委員会の検討結果が報告された。

・再任制度の適用日・オペレーショナルな部分についても示すべきであるとの意見が複数の理事よりあった。

・赤松監事より、代替案も用意すべきではないかという意見があった。

・議論の後、再任制限を設けることについては、2013 年 6 月の社員総会に提出することが承認された。再任制度の適用日については、委員会において検討し、次回理事会に提出し、その結果を受けて総会に提出することとなった。

2) その他の定款変更を含む 4 つの案件について

酒井学会組織検討委員長より、定款第 40 条第 2 項(議事録)および、第 41 条 3 項、支部長任期、支部規程の公開の 4 件の改定案について説明があり、審議を経て承認された。

・第 40 条第 2 項(議事録)の改定案：代表理事及び出席した監事は、前項の議事録に記名押印する。

・委員会委員として正会員以外を認めるよう定款第 41 条第 3 項を改正する。

・支部長の任期を 2 年とし、選挙日程を本部選挙日程に合わせるよう、理事長から各支部に要請する。

・支部規程を HP 等で公開するよう理事長から各支部に要請する。

定款第 40 条第 2 項（議事録）と第 41 条 3 項の改正については、総会に提出する。

なお、定款改正については、司法書士の確認が必要であるため、次回理事会までに文章について司法書士と相談を行う。

(6) 第 6 号議案 平成 25 年度功労賞受賞者の選定について

阿久津表彰委員長より、功労賞の候補として斉藤進氏、岸田孝弥氏、八田一利氏が提案され、承認された。

【報告事項】

(1) 総務報告

(1-1) 一般社団法人日本人間工学会第 18 回理事会議事録

メール審議を経て第 18 回議事録が確定した旨、報告があったが、編集委員長より、編集委員会報告内における 1 文に関して、曖昧表現であるため削除の申し出があり、審議の上、承認された。

(1-2) 会勢報告(1 月末)

2013 年 1 月末現在、会員数 1,667 名、賛助会員 33 社 34 口。

(1-3) 名誉会員の推薦について

名誉会員の推薦者を募った。

(2) 財務報告

三林財務担当理事より、平成 25 年度 1 月度収支決算報告があった。

(3) 第 54 回大会準備状況

堀江大会長より、準備状況について報告があった。学会企画シンポジウムについては、様々な分野で活用している人間工学を 4 名の先生方に紹介していただく内容で検討を進めている。機械分野から景山一郎氏（日大生産工）、建築分野から八藤後猛氏（日大理工）、医療・看護分野から横井郁子氏（東邦大）、心理分野から松波晴人氏（大阪ガス）に講演をお願いしている。

(4) 担当・委員会報告

(4-1) 編集委員会

大須賀委員長より査読状況・投稿論文数の推移・採択率等の報告を確認した。また、広報委員会の協力のもと、オンライン投稿が開始された旨報告があった。順調に進行しているが、オンライン投稿では著者名が 7 名枠に設定されているため、8 名以上であった時の対処を現在検討中。次段階として、査読状況が著者にわかる仕組みも検討中。

論文促進策としてのクイックレビュー制度の運用を、第 54 回大会から開始する。

また、連載特集企画として、認定人間工学専門家によるグッドプラクティス賞受賞事例の紹介を連載予定。

(4-2) 国際協力委員会

小谷委員長より、2 点報告された。

- ・ IEA による人間工学等の定義について、JES としての公式の日本語訳を作る動きを始めた。
- ・ IEA の HP のリニューアルに関して、Web マスターである河合理事に、IEA エグゼクティブコミッティー会議に参加してもらい、議論を進める方向で動いている。

(4-3) ISO/TC159 国内対策委員会

横井委員長より、METI 標準化ニーズ調査実績報告と計画に関する報告および、ISC と WG の状況、日本からの規格提案状況について報告があった。また、次期事務局を JES 事務局内に設置する方向で検討を進めている旨報告があった。

(4-4) 表彰委員会

阿久津表彰委員長より、H24. 9. 3 と H25. 1. 11 に開催された委員会報告があった。

(4-5) 学術担当

学会誌に掲載の論文について問い合わせがあり、学術担当で対応することになった。

(4-6) 人間工学専門家認定機構

吉武機構長より、総会と講演会が 4/26 に決定。専門家試験結果及び会報発行、ホームページを昨年末にリニューアルした旨、報告があった。

(4-7) IEA 担当

小谷国際協力委員長より、IEA の Web リニューアル状況について報告があった。今後 7 月に一般公開予定。8 月に JES と IEA が本件についての MOU(覚書)を締結する。

(5) 支部報告

(5-1) 北海道支部

横山支部長より、H24. 8. 3 に支部役員会を開催、H24 年度支部総会を 11. 10 に開催、H25 年度支部大会と総会を 10 月ないし 11 月開催予定である旨報告があった。

(5-2) 東北支部

北村支部長より、H25. 2. 2 に研究会を実施したとの報告があった。テーマは「防災・危機管理のための市民向け情報提示技術」。

(5-3) 関東支部

阿久津支部長より、H24. 12. 1～2 に第 42 回関東支部大会を開催（一般演題 75 題。参加者 185 名。卒論研究発表会は 46 題、参加者 82 名の合計 267 名）、見学会を H25. 3. 27 に海上安研で開催、次年度の関東支部大会は H25. 12. 7～8 に首都大学東京で開催するとの報告があった。

(5-4) 東海支部

斎藤支部長より、支部役員会を H24. 12. 22 に開催、H25. 11. 2 に支部大会を開催するとの報告があった。

(5-5) 関西支部

小谷理事より、H24. 12 に支部大会を実施した旨報告があった。また、大須賀理事より H25. 3. 23 に支部総会を開催するとの報告があった。

(5-6) 九州・沖縄支部

三宅理事より、H24. 11. 17 に西日本工業大学で人類動態学会と合同で支部大会を開催、H25 年度は鹿児島県短大で支部大会を開催予定であるとの報告があった。

(6) 協賛等の依頼

青木理事長より、12 件の依頼について協賛をする旨報告があった。

(7) その他

(7-1) H25 定時社員総会資料作成に向けての予定。

堀江総務理事より、H25 年定時社員総会資料作成（H24 事業報告・H25 事業計画及び決算書類）についての依頼を 3 月上旬にお送りするのでよろしくお願いする旨依頼があった。

(7-2) 事務局員について

JENC 事務局を 4 月から JES 事務局に移転するよう検討中。また、JES 事務局の西原彩氏を紹介。

(7-3) 交通費申請について

提出締め切りは H25. 3. 8 まで。交通費が予算オーバーの場合、比例配分になるため、航空券手配は早割等を活用して欲しいとのお願いがあった。

(7-4) 今後の理事会日程

H25. 4. 23（15:30～18:00）に第 20 回理事会、H25. 5. 31（15:00～17:00）に第 21 回理事会を開催予定。

(8) 閉会

以上の議事を終え、17時56分に閉会した。

上記の決議を明確にするため、議長、議事録署名人がこれに記名押印する。

平成25年2月19日

議 長 青 木 和 夫[Ⓔ]

議事録署名人 堀 江 良 典[Ⓔ]

議事録署名人 赤 松 幹 之[Ⓔ]